

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
ECC国際外語専門学校		昭和59年2月20日		大谷内 圭		〒 530-0015 (住所) 大阪府大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人山口学園		昭和58年11月22日		酒元 英二		〒 530-0015 (住所) 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6366-1440																																									
分野		認定課程名		認定学科名		専任士認定年度		高度専任士認定年度	職業実践専門課程認定年度																																						
文化・教養		語学ビジネス専門課程		こども教育研究学科		-		平成28(2016)年度	平成28(2016)年度																																						
学科の目的		<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。グローバル社会で活躍できる保育士、幼稚園教諭を養成する。</p>																																													
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		<p>①こども教育業界・保育園・幼稚園での勤務のあるの講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより、保育・幼稚園教育・小学校教育の現場が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。 ②授業で得た知識・技能を現場実習で実践することにより、経験力と教育力を高める。 ③英語能力を磨き、英語を使って保育・教育ができる人材となるための実用英語教育を行う。□</p>																																													
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習	実験	実技																																			
4年		昼間		※単位数時間、単位いずれかに記入 3,420 単位数時間		3,570 単位数時間		30 単位数時間		単位数時間	単位数時間	単位数時間																																			
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)		中退率																																							
44人		11人		0人		0%		0%																																							
就職等の状況		<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>:</td><td>12</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>:</td><td>10</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>:</td><td>10</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>:</td><td>8</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>:</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>:</td><td>80</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>:</td><td>83</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>:</td><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td>:</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1名 (令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) キンダーキッズ、ライクキッズ、囀幼稚園、社会福祉法人照福福祉会、LITALIGO、クオリスキッズ、テラス南堀江保育園、AIAI Child Care、キティインターナショナル、アースエイトユニバーサルスクール</p>										■卒業者数(C)	:	12	人	■就職希望者数(D)	:	10	人	■就職者数(E)	:	10	人	■地元就職者数(F)	:	8	人	■就職率(E/D)	:	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	80	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	83	%	■進学者数	:	1	人	■その他	:		
■卒業者数(C)	:	12	人																																												
■就職希望者数(D)	:	10	人																																												
■就職者数(E)	:	10	人																																												
■地元就職者数(F)	:	8	人																																												
■就職率(E/D)	:	100	%																																												
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	80	%																																												
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	83	%																																												
■進学者数	:	1	人																																												
■その他	:																																														
第三者による学校評価		<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: 一般社団法人専門職高等教育保証機構 受審年月: 令和4年2月1日 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/</p>																																													
当該学科のホームページURL		https://kokusai.ecc.ac.jp/																																													
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		<p>(A: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>3,600 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>30 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>3,420 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>30 単位数時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位数時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>うち必修単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>単位数</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>単位数</td></tr> </table>										総授業時数	3,600 単位数時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	30 単位数時間	うち必修授業時数	3,420 単位数時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	30 単位数時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位数時間	総単位数	単位数	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位数	うち企業等と連携した演習の単位数	単位数	うち必修単位数	単位数	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位数	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位数	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位数								
総授業時数	3,600 単位数時間																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間																																														
うち企業等と連携した演習の授業時数	30 単位数時間																																														
うち必修授業時数	3,420 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	30 単位数時間																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位数時間																																														
総単位数	単位数																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位数																																														
うち企業等と連携した演習の単位数	単位数																																														
うち必修単位数	単位数																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位数																																														
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位数																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位数																																														
教員の属性(専任教員について記入)		<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>1人</p>										① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人	計	3人																								
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人																																														
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																														
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																														
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1人																																														
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1人																																														
計	3人																																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																																				
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、保育業界や教育業界に貢献することができる保育士、幼稚園教諭の育成の為、こども教育研究学科教育課程編成委員会として業界、企業等の役員を選出し、企業等の様々な意見や要請などを十分に活かしながら、実践的かつ専門的そして、先駆的な職業教育モデルを構築し、中核的専門人材の養成教育を展開する。年2回の教育課程編成委員会では以下の事項について協議をし、各授業科目の改善や工夫等に活用、反映する。 教育課程編成委員会での協議内容 1.年2回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。 2.就職先企業に卒業生の就労状況のヒアリング、企業・業界からの新たなニーズや要望等、職業人として必要な要素や課題の情報収集を行い、改善策を協議する。また、企業研修(インターンシップ)の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。																																				
(2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記 こども教育研究学科では、保育園、幼稚園、インターナショナルスクール等において、現場で求められる優れた指導力、英語力を有する即戦力なりうる人材を育成するために、これらの分野に知見を有する企業、団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を適切かつ円滑に行うための組織として学内に教育課程編成委員会を置く。 以下の①～④の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る。 ①教務課:教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。 ②進路指導課:進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。 ③教育課程編成委員会:教務課・進路指導課からの課題を受け、企業・業界の立場から改善策の協議と提案を行う。 ④学内カリキュラム編成委員会:こども教育研究学科教育課程編成委員会での協議内容に基づき、改善策の審議を経て、最終的には学校長が実施可否を決定する。																																				
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 <p style="text-align: right;">令和7年9月1日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>守屋 美智子</td> <td>幼保連携型認定こども園 都島児童センター 副館長</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>田中 七帆子</td> <td>株式会社 キンダーキッズ 保育課 課長代理</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>大谷内 圭</td> <td>ECC国際外語専門学校 学校長</td> <td>令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東井 喜美</td> <td>ECC国際外語専門学校 副校長</td> <td>令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>杉田 典彦</td> <td>ECC国際外語専門学校 進路指導課責任者</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>榑原 悠祐</td> <td>ECC国際外語専門学校 教務課責任者</td> <td>令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高崎 章宏</td> <td>ECC国際外語専門学校 教務課</td> <td>令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>新井 寛規</td> <td>ECC国際外語専門学校 専任教員</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員</p>	名前	所属	任期	種別	守屋 美智子	幼保連携型認定こども園 都島児童センター 副館長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	①	田中 七帆子	株式会社 キンダーキッズ 保育課 課長代理	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	③	大谷内 圭	ECC国際外語専門学校 学校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—	東井 喜美	ECC国際外語専門学校 副校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—	杉田 典彦	ECC国際外語専門学校 進路指導課責任者	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—	榑原 悠祐	ECC国際外語専門学校 教務課責任者	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—	高崎 章宏	ECC国際外語専門学校 教務課	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—	新井 寛規	ECC国際外語専門学校 専任教員	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
名前	所属	任期	種別																																	
守屋 美智子	幼保連携型認定こども園 都島児童センター 副館長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	①																																	
田中 七帆子	株式会社 キンダーキッズ 保育課 課長代理	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	③																																	
大谷内 圭	ECC国際外語専門学校 学校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—																																	
東井 喜美	ECC国際外語専門学校 副校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—																																	
杉田 典彦	ECC国際外語専門学校 進路指導課責任者	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—																																	
榑原 悠祐	ECC国際外語専門学校 教務課責任者	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—																																	
高崎 章宏	ECC国際外語専門学校 教務課	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—																																	
新井 寛規	ECC国際外語専門学校 専任教員	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—																																	
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回 (7月～8月、2月～3月) (開催日時(実績)) 第1回 令和6年7月31日 13:00～15:00 第2回 令和7年3月4日 15:00～17:00																																				
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 保育士としては、「積極性がある、物怖じしない、失敗しても立ち直りが早い」性格のほうに適していることも多く、「真面目で一生懸命であるが、自分の殻が破れない学生」に対して、どのように積極性を養っていくかという課題に対して、委員から「劇の導入」の提案を頂いた。助言を受けて、2025年度は実習指導科目において、「演じる」ことを意識させて、衣装や小物などの事前準備を行い、キャラクターを設定して実習に望むことで、教材マテリアルを充実させ、「引き出し」の多さ、授業でも動かないメンタルの醸成に注力した。また、手遊びや歌、ゲームなどのバリエーションを年次別に増やし、誰にも負けないものを持っておくというご提案を受けて、「あそび学」を導入し、あそびについて体系的・実践的に学ぶことができるカリキュラムを実践。実習先でもすぐに活用できるようなアイデア・ツールを享受し、学生たちも胸を張って実習に参加できるマインドセットが可能となった。																																				
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係																																				
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 1.企業等との連携による実習・演習等の目的 ・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。 ・業界での現場体験することにより、接客実戦(経験)力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。 2.企業等との連携による実習・演習等の運営 ・企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。 ・実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会での内容を検証し改善を図る。 3.企業等との連携による実習・演習等の評価 ・本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。 ・カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。																																				
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学習成果の評価における連携内容を明記 提携する保育園等の施設において、コース担当、及び専任教員が実習実施に向けて実習園、施設担当者、園長・責任者等から実習の方針、方法、内容などや事前、事後のカリキュラム内容、授業内容、進行に関して助言をうける。特に実習前において、実習にあたっての心得、姿勢など、現場の視点からの率直な指導を頂く。同時に各園、施設の最新事業についての知識を教授頂き、業界動向の更新、及びその流れに沿ったカリキュラム、指導内容へとつなげていく。																																				

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ 指導ⅡA	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	提携する保育園において、保育実習を行う。保育園、保育事情の最新知識を学ぶと共に、乳幼児、こどもたちを保育、指導できる力を実践で養う。	社会福祉法人 都島友の会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的
教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	「基礎的・校内研修」	連携企業等:	文部科学省 独立行政法人教職員支援機構
期間:	令和6年7月23日	対象:	教職員
内容:	①対話と合意の形成 ②ネットいじめの複雑化 ③コーチングコミュニケーションの重要性 ④ゲートキーパーと教師の役割		

研修名:	インクルーシブ教育オンライン研修	連携企業等:	British Council
期間:	令和6年8月6日	対象:	教職員
内容:	インクルーシブ教育(Inclusive Education)のアプローチについて理解を深める。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Hyper-QU結果の活用研修	連携企業等:	(株)図書文化社
期間:	令和6年5月2日	対象:	教職員
内容:	休退学防止の一環として取り組んでいるQUアンケートについて、学生対応・組織作りに関する課題を可視化し、改善するしくみを学びます。		

研修名:	心のサポーター養成研修	連携企業等:	大阪市こころの健康センター
期間:	令和6年11月11日	対象:	教職員
内容:	心の不調に気づき、適切に対応できることを目的にこころの病気の疫学、こころの病気からの回復、メンタルヘルスファーストエイドについて学び、聴くワークを通して、実践的なスキルを身に付ける。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	Play, Learning and the Brain(遊び・学び・脳の関係)	連携企業等:	The Open University
期間:	令和7年6月19日～25日	対象:	専任教員
内容:	(1) 幼児期の脳の発達 (2) 脳科学に基づく学び(BBL)の考え方 (3) BBLの課題 (4) 遊びと学びの関係 (5) 屋外遊びの重要性をテーマに幼児期における脳の発達と遊び・学びの関係、そして脳科学に基づく学び(Brain-Based Learning: BBL)の考え方について学ぶ。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Hyper-QUアンケート結果の活用研修	連携企業等:	(株)図書文化社
期間:	令和7年5月21日	対象:	教職員
内容:	同社が提供するHyper-QUアンケートの分析結果によるクラスや学生の状況を把握し、組織作りに関する課題を可視化。クラスを改善するしくみや課題別学生指導や対応方法について学ぶ。		

研修名:	配慮が必要な学生を支える授業マネジメント	連携企業等:	特定非営利活動法人 キッズレクリエーションクラブ
期間:	令和7年7月28日	対象:	教職員
内容:	配慮を必要とする学生の特性や状況を理解し、必要な支援を見極めながら、個々の特徴に応じた柔軟な対応と授業方法の工夫を学び、学生の主体性や学習意欲を高める関わり方について学ぶ。		

研修名:	教育現場の安心と信頼を守るコンプライアンス研修	連携企業等:	鳩谷・別城・山浦法律事務所
期間:	令和8年3月10日	対象:	教職員
内容:	学生と教員の立場を踏まえた適切な接し方や指導法を学び、パワハラ・アカハラの具体例を通じて線引きと未然防止策を理解し、信頼関係構築に必要な対話や相談対応力の向上を図る。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。

(学校関係者評価)

第11条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会(以下「関係者委員会」という。)

に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

(関係者委員会の構成)

第12条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。

(1) 関連業界等関係者 2名以上 (2) 卒業生 1名 (3) 保護者または地域関係者 1名 (4) その他校長が必要と認める者1名

2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(関係者委員会の運営)

第13条 関係者委員会に委員長を置く。

2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。

3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければならない。

5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。

(報酬及び費用弁償)

第14条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。

(学校関係者評価の評価結果)

第15条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。

(学校関係者評価の活用)

第16条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(学校関係者評価結果の報告)

第17条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。

(学校関係者評価結果の公表)

第18条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。

(その他)

第19条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ・学校における職業教育の特色は何か ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組が行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学修成果に関しては、教務課とキャリアセンターで連携と目標共有の仕組み強化が必要とのご意見を受け、学生が学期ごとに作成する目標設定シートを両部署で共有し、定期的に会議を開催して指導方法や体制を協議している。職業観の醸成が課題となる語学系コースについては、柔軟な目標設定に加え、インターンシップ等の職業体験機会を企業と連携して検討を進めている。さらに、保護者委員からの提案を踏まえ、就職活動の進捗共有や保護者間交流の場として、保護者面談会時に茶話会を実施することとした。今後も、委員からいただいた提案や助言を教育活動に積極的に反映させ、学生・保護者・卒業生それぞれにとって実態に即した、より充実した学校運営を推進していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
五十嵐 駿太	株式会社 With The World 代表取締役社長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	企業等委員
國府 昭義	三井不動産 リゾートマネジメント株式会社 HOTEL THE MITSUI KYOTO 副総支配人/人材開発部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員
中上 隆雄	済美地域社会福祉協議会 会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	地域委員
貴治 康夫	高等学校教員	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	高校教員
荒木 駿汰	卒業生	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生
小笠原 梨乃	卒業生	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	卒業生
高田 由紀子	保護者	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())
 URL: https://kokusai.ecc.ac.jp/
 公表時期: 令和7年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成25年3月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料5「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。
 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画 例：学校安全・保健対策等
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・終了の認定基準等)、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3)教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期)活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方針
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
(11)その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/
 公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程 こども研究学科)																
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携	
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
	○			(H)保育の心理学ⅢA	主に0～6歳の子どもの運動・認知・社会性・基本的な生活習慣などの発達の前段階について確認する。さらに発達に遅れや偏りのある子どもの特徴について学習を進める。また、保育にまつわる事例を通してその子どもおよび保護者にどう支援すればよいか、事例を通して自ら考える力を養う。	3/前	30	2	○					○		
	○			(H)教育方法論ⅢA	この授業では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力をどのように学校教育において育成するのかを考察することが目的である。そのために、これまでの教育方法の変遷を踏まえ、新たな授業構成や授業展開及び情報機器を含めた教材の活用方法について基礎的理論を理解する。また、それらを授業においてどのように資質・能力の育成に結びつけていくのかを実践的に考察する。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)国語Ⅰ_ⅢA	本講義は、幼児・児童のこぼの発達を助けたり、小学校の国語科の指導を行ったりするための基礎知識を学ぶとともに、国語への意識を高めることを目的とする。小学校での国語教育を念頭に置き、4つの柱である「聞く」「話す」「読む」「書く」に関する課題をアクティブにこなしつつ、自己の国語力を確認し整理しながら、新たな創作ができる技術や表現の技術を学ぶ。言語表現の実際を体験して相互理解を図る。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)算数ⅢA	この授業では、小学校算数科という教科の特性を知り、主要な単元に関する教材研究を通して、指導にあたっての指針を明確にできるようにすることを目的とする。そのためには、まず、小学校算数科における5領域の主要な学習内容をピックアップし、その内容の理解及び指導のポイントを確認することから概説する。その上で、実際に教材研究を行い、その発表等を通して算数科の指導内容に対する理解を深めるとともに、教材研究の方法を理解できるようにするものである。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)社会ⅢA	社会科教育の基盤から、方法原理、評価の理論、授業作り、学習指導方法といった理論的な側面について、演習的要素を取り入れながら学んでいきます。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)理科ⅢA	小学校理科の内容をエネルギー(物理)、粒子(化学)、生命(生物)、地球(地学)にわけ、それぞれの実験、観察、飼育・栽培などの基礎的知識および技能を身につける。さらに、実験や観察の結果を考察することで、自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え、問題解決の能力を養う。また、理科の概念把握には命題、ストリング、知的技能、運動技能、イメージ、エピソード、メタ認知の7つの要素の重要性を認識し、これらの要素を考慮に入れて教材開発する姿勢を身につける。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)生徒指導・進路指導ⅢA	本授業は、「生徒指導の意義と原理」「すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方」「児童生徒の抱える生徒指導上の課題」「養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方」などを中心に学修を進めていく。特に児童生徒全体への指導においては、チームによる支援、学校種間や学校間の連携の重要性について理解を図る学修にする。進路指導においては、学校で学ぶことと社会との接続を踏まえ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育む進路指導・キャリア教育を行う。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)道徳教育論ⅢA	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と内容について解説し、道徳教育の指導計画・全体計画および道徳科の授業設計について考察する。模擬授業を通して、実践的能力の育成を図る。教育連携校である姫路大学のシラバスに準ずる。	3/前	30	2	○						○	
	○			教育実習指導(幼稚園)ⅢA	教育実習(幼稚園)及び実習に向けた必要な知識や技術を学ぶための準備授業	3/前	30	2	○						○	○
	○			キャリアデザイン(KE)ⅢA	保育・教育業界には、現在様々な形態の法人が参入している。とりわけ、株式会社や合同会社の参入は非常に影響が大きく、従来の社会福祉法人やNPO法人などが求める人物像とは大きく異なる事業展開をしている会社も少なくない。本科目は、就職活動の基礎的知識の習得を行い、自身の考えるキャリアプランに即した活動が行えるよう指導するものである。	3/前	30	2	○						○	
	○			(H)特別活動指導法ⅢA	特別活動の意義、目標や内容、指導法を理解し、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識を身に付ける。模擬授業の実践によって指導力の向上を図る。 ※教育連携校である姫路大学シラバスに準ずる	3/前	30	2	○						○	
		○		Practical Reading Pre- Intermediate II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	3/前	30	2	○						○	
		○		Practical Reading Intermediate II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	3/前	30	2	○						○	
		○		Practical Reading Advanced 1 II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	3/前	30	2	○						○	
		○		Daily English Pre-Intermediate II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/前	30	2	○						○	○
		○		Daily English Intermediate II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/前	30	2	○						○	○
		○		Daily English Advanced 1 II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/前	30	2	○						○	○

18		○	Design Your Own Adventure Advanced 2 II A	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/前	30	2	○			○		○	○	
19		○	Design Your Own Adventure Pre-Honors II A	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/前	30	2	○			○		○	○	
20		○	Film Criticism Honors II A	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	3/前	60	4	○			○		○		
21		○	Daily English Advanced 2 II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/前	30	2	○			○		○	○	
22		○	Daily English Pre-Honors II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/前	30	2	○			○		○	○	
23		○	Speak Up Pre-Intermediate II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/前	60	4	○			○		○	○	
24		○	Speak Up Intermediate II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/前	60	4	○			○		○	○	
25		○	Speak Up Advanced1 II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/前	60	4	○			○		○	○	
26		○	Speak Up Advanced 2 II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/前	60	4	○			○		○	○	
27		○	Speak Up Pre-Honors II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/前	60	4	○			○		○	○	
28		○	Business Honors II A	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	3/前	60	4	○			○		○		
29		○	短期留学単位ⅢB	海外への短期留学を通して英語力の向上、また多文化への理解を深めます。	3/後	390	26	○					○	○	
30		○	留学フォローアップⅢB	海外への短期留学を通して英語力の向上、また多文化への理解を深めます。	3/後	60	4	○			○		○		
31		○	キャリアデザイン(KE)ⅢB	本科目は、就職活動の基礎的知識の習得を行い、自身の考えるキャリアプランに即した活動が行えるよう指導するものである。	3/後	30	2	○			○		○		
32		○	児童文学・児童資源ⅢB	文学作品の多くは、保育所・幼稚園では絵本や児童文化財のストーリーとして教材に取り上げられている。そのため、学生たちも身近な資源として活用してきたことであろう。より深い解釈や教材研究のために、原作の持つ社会背景や誕生のための必然性や、作品の生まれた風土や作者について知る。また、青年期の今こそ読んで貰いたい作品も取り上げる。できるだけ多くの原作・原本に触れ、文学の楽しさを享受したい。	3/後	30	2	○			○		○	○	
33		○	教育社会学ⅢB	この授業では、"教育"がどこにおいてどのような目的でおこなわれ、どのような働きを持っているのかについて理解するとともに、教育という営みについて自身の経験にとらわれることなく、データをもとに実証的に整理し議論する力を身につけることを目標とします。	3/後	30	2	○			○		○	○	
34		○	(Z)こども教育TAⅢB	校内教務・授業サポート及び清掃活動又は整理作業などを行い、教員補助の役割を体感することで、教育者になるための実践やマインドを養います。	3/後	30	2	○					○	○	
35		○	Practical Reading Pre-Intermediate II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
36		○	Practical Reading Intermediate II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
37		○	Practical Reading Advanced 1 II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
38		○	Speak Up Pre-Intermediate II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
39		○	Speak Up Intermediate II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
40		○	Speak Up Advanced 1 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
41		○	Speak Up Advanced 2 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
42		○	Speak Up Pre-Honors II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
43		○	Daily English Pre-Intermediate II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
44		○	Daily English Intermediate II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
45		○	Daily English Advanced 1 II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○		○	○	
46		○	Design You Own Adventure Advanced 2 II B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/後	30	2	○			○		○	○	

47		○	Design Your Own Adventure Pre-Honors II B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/後	30	2	○			○	○	○								
48		○	Cultural Anthropology Honors II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	3/後	30	2	○			○	○	○								
49		○	Journalism Honors II B	ライティング・テクニク、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	3/後	60	4	○			○	○	○								
50		○	Film Criticism Honors II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	3/後	60	4	○			○	○	○								
51		○	Business Honors II B	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	3/後	60	4	○			○	○	○								
52		○	TOEIC1 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○	○	○								
53		○	TOEIC2 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○	○	○								
54		○	TOEIC3 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○	○	○								
55		○	TOEIC4 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○	○	○								
56		○	Daily English Pre-Honors II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○	○	○								
57		○	Daily English Advanced 2 II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○	○	○								
58		○	ビジネスマナー II B	実際のビジネス現場で困らない必要最低限のビジネスマナーを学びます。	3/後	30	2	○			○	○	○								
59		○	ビジネススキル(こども) III B	「今日から役立つ実践スキル」が学べるライブコミュニティ「Schoo」の講義を受講し、課題を提出します。	3/後	30	2	○			○	○	○								
60		○	情報基礎知識(こども) III B	本授業は、高度情報化社会の構成員ふさわしい情報社会の原理・本質・価値・限界・可能性等を理解し、これを使いこなす対応力を修得することを目的とした全学共通の情報リテラシー科目である。	3/後	30	2	○			○	○	○								
61		○	多文化共生理解B	多文化共生社会の中で求められるグローバルマインドを身け、実社会で有用となるコミュニケーションスキル修得を目指して、本校留学生と日本人学生が様々なトピックについて互いの意見を交換し合う場を設けます。この授業は、複数の授業担当講師によるオムニバス形式で実施し、多様な考え方に触れ、自分の考え方を省みることが出来る柔軟な姿勢を持つことを目指します。	3/後	30	2	○			○	○	○								
62	○		(H)地域ボランティアIVA	この科目は、地域の学童保育や社会福祉活動などのボランティア活動を通して地域貢献と学生の質的向上に成果をあげることを目的として、実社会のなかでどのように人間関係を作り上げていけばいいのかという実践的に学んでいくものです。実習科目ですので、学内での授業(事前事後学修)と、学外でのボランティア活動とで構成されます。	4/前	60	4	○			○	○	○								
63	○		インターンシップ事前・事後指導IVA	インターンシップを実施する際に不可欠な(1)インターンシップの目的、(2)英語保育業界の現状、(3)英語保育の現場で求められる知識とスキル、(4)ビジネス上のスキルとスマナーについて学ぶ。また集団・個人への指導を通し、これまでに学んだ知識やスキルをインターンシップの本番や将来の教育現場で実践できる力を養成する。	4/前	30	2	○			○	○	○								
64	○		社会時事・一般教養IVA	社会人として知っておくべき社会時事 時事問題 常識問題を把握し、社会人としての教養を身に付ける。 就職活動におけるSPI問題を解く力をつける。	4/前	30	2	○			○	○	○								
65	○		ビジネスマナーIVA	実際に仕事を始めても困らないよう最低限必要なビジネスマナーを学びます。	4/前	30	2	○			○	○	○								
66	○		キャリアデザイン(KE)IVA	面接やグループディスカッション対策を中心に内定獲得へ向けた実践形式的授業を展開します。	4/前	30	2	○			○	○	○								
67	○		World in Focus A	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通の力の修得を目指し、授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	4/前	30	2	○			○	○	○								
68	○		教職実践演習IVA	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。その他、文部科学省「教職実践演習」に準ずる。	4/前	30	2	○			○	○	○								
69		○	Practical Reading Pre- Intermediate II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	4/前	30	2	○			○	○	○								
70		○	Practical Reading Intermediate II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	4/前	30	2	○			○	○	○								
71		○	Practical Reading Advanced 1 II A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	4/前	30	2	○			○	○	○								
72		○	Daily English Pre-Intermediate II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	4/前	30	2	○			○	○	○								
73		○	Daily English Intermediate II A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	4/前	30	2	○			○	○	○								

